

ハローワーク指宿 就職支援業務報告（令和6年度）

別紙3

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

① 求人充足支援

当所では、求人充足支援を重点的に進めることとし、求人者向けセミナーや事業所紹介シートによるPRなどの取組を行いました。求人者向けセミナーについては、主に人材確保分野の求人者を対象に「人材確保のためのSNS動画セミナー」及び「求人票作成ポイントセミナー」を開催し、それぞれ7社9名、11社15名の参加がありました。事業所紹介シートによるPRについては、令和6年度から新たに開始した取組で、事業所側が作成した紹介シートを庁舎玄関ホールに掲示するとともに、所ホームページにも掲載し有効中の求人にリンクさせています。特に庁舎内掲示は、閲覧する求職者を多く見かけ、事業所PRに繋がっていると考えます。

② 求職者マイページの登録及びオンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替の推進

当所では、求職者マイページの登録が低調だったことから、登録強化期間を設定し、リーフレット等を用いた集中的な登録促進を行いました。その結果、求職者マイページの登録割合は、令和6年4月は23.3%だったものが、令和7年3月には37.6%まで改善しました。

また、オンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替についても、令和5年度は目標270件に対し実績192件（達成率71.1%）と低調だったため、主に新規登録者への積極的な案内を行い、令和6年度は目標202件に対し実績342件（達成率169.3%）と大幅に改善しました。

（2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

人材不足分野の充足支援が課題であり、中でも求人の多い医療・福祉分野の充足向上のため、令和6年5月より「医療・福祉の求人情報」を新規に発行しました。特に、求人検索パソコン等の操作に難がある高年齢求職者や当該分野への就職を希望している求職者の求人情報収集のツールの一つとなっています。

また、主に人材不足分野の魅力発信や充足支援のため「求人ミニ説明会」や「事業所PRタイム」を積極的に開催し、求人者、求職者共に高評価をいただいています。

(3) その他の業務運営についての分析等

就職件数及び充足数に直結する新規求職者数が、令和5年度は2,259人だったものが令和6年度は2,112人と減少しました。一方で、新規求職者のうち中高年齢者は、令和5年度は1,325人だったものが令和6年度は1,336人とわずかながら増加しました。今後は更なるハローワークの利用促進や中高年齢求職者の就職支援に注力していく必要があると考えます。

(4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

① ハローワークの利用促進

令和6年度から取組を開始した「公式YouTubeチャンネル」によるハローワークの利用案内を継続し、引き続き、ハローワークの支援メニューの周知を行うこととします。

また、早い段階からハローワークの認知度を向上させるため、学生や生徒に対しハローワークの周知を行い、新規学校卒業時やU I ターンなどの将来に向けたハローワークの利用促進を図りたいと考えます。

② 中高年齢求職者の就職支援

月2回発行している求人情報誌「高年齢者の方応援」を、引き続き発行することとします。

また、中高年齢層においては求職者マイページの登録に難色を示す求職者が多いことから、求職者マイページ操作ガイドの作成を検討します。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度(求人者)	満足度(求職者)	生活保護受給者等の就職率	人材不足分野の就職件数						
令和6年度目標	996	893	569	90.0%	90.0%	68.0%	295						
令和6年度実績	941	837	212	87.9%	100.0%	70.8%	260						
目標達成率	94%	93%	37%			104%	88%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。